

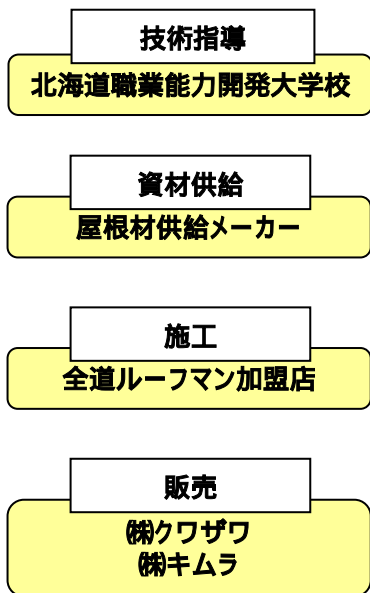
地域	北海道札幌市	認定日	平成20年3月28日	1 - 19 - 038
事業分類	製造(金属・同製品)	テーマ分類	衣食住(住)	

事業名:積雪寒冷地に対応したルーフマン工法(屋根施工)の確立と普及

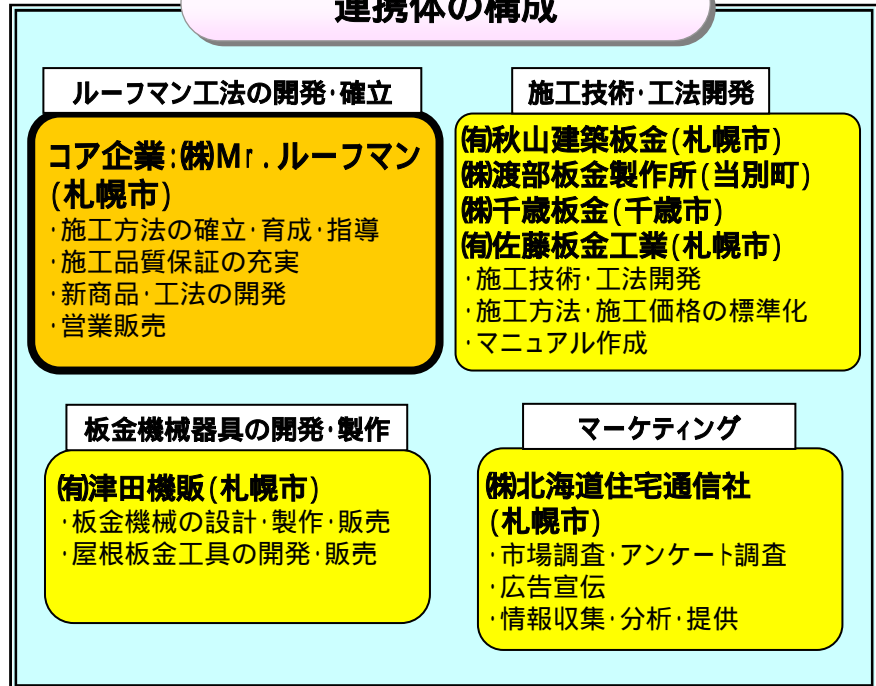
事業概要(新規性、市場性等)

- 北海道など積雪寒冷地では、雪処理のため様々な形状・機能の屋根が提唱されてきたが、スガモリ等の障害を完全に克服する屋根施工法は確立されておらず、(株)Mr.ルーフマンは以上の課題を克服するルーフマン工法の普及を図ってきた。ルーフマン工法は、屋根材の裏側に耐久性の高い防水シートを引き、ゴム縦棧等を用いて屋根材と野路板の間に空間を設け、排水路を作る。この空間は通気層の役割も果たし結露防止効果を高め、スペーサーの付加で軒先の水抜き処理を行う。
- 新連携計画では、屋根の防水対策、積雪・落雪対策などの課題を克服するルーフマン工法の確立と、多様な屋根材への対応を図るほか、(株)Mr.ルーフマンが窓口となって工事を受注、技術力を標準化・マニュアル化して、認定証を交付した技術者を擁する加盟店へ工事を発注する加盟店方式での事業展開を行う。また、メーカーによる製品保証のほか、ルーフマン及び加盟店での施工に関しては、屋根業界としては画期的とも言える屋根に対する施工保証、材工保証を行う。

事業推進体制



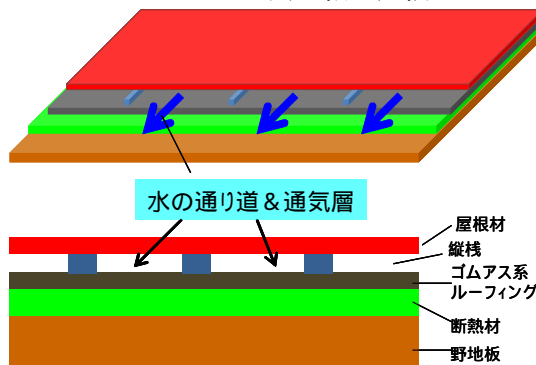
連携体の構成



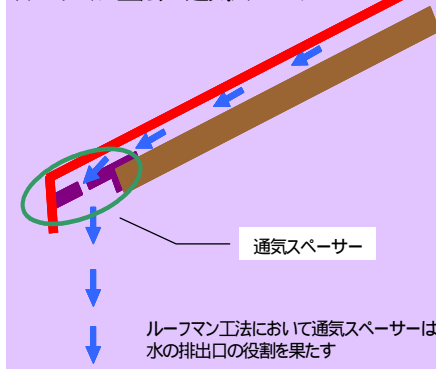
支援予定メニュー

- 補助金
- 低利融資(商工中金)
- 信用保証
- 特許料減免

ルーフマン工法の板金屋根



ルーフマン工法+通気スペーサー



連携のきっかけ、特徴

「北海道に、しっかりとした施工品質の屋根を届けたい」

本事業の背景にあるのは、このような理念、想いである。

北海道の屋根は、他地域とは違い、9割以上が鋼板屋根(板金屋根)。他地域で主流である瓦屋根では、「雨水は瓦の下に入るもの」と認識され、防水シート等 二次防水の工夫がされているが、板金屋根では「板金から水が入らないように作る」一次防水が、主流。しかし、現状では、住宅保険の保証事故の8割近くが、雨水の浸入などによる屋根での事故だと言われている。

(株)Mr.ルーフマンの親会社である板金店4社は、当初、自分たちの施工品質向上のため、独自に、二次防水、排水路、通気層の確保などの工夫を行い、ノウハウを蓄積してきた。この工法を普及させ、北海道に確かな施工品質の屋根を届けたいとの思いのもと、営業・販売部門として、(株)Mr.ルーフマンを設立したのが3年前。自社のノウハウを「ルーフマン工法」としてマニュアル化し、それを同社の理念に賛同する加盟店に教育。教育を終えた加盟店の施工に対しては保証を行うという加盟店方式を構築した。

3年間の無事故という実績に裏打ちされた施工保証は、消費者はもちろん、施工品質に関し、消費者からの厳しい要求に応える責任を負っているハウスメーカーからも、受け入れられるものであり、今後、多様な屋根材への対応を図りつつ商品ラインナップを拡充させる。

また、品質にこだわりを持ち、消費者の声に耳を傾けるといった、同社の基本方針を実現するため、親会社である板金店4社以外にも、2社の連携企業が本事業に参加している。業界への深い知識と情報収集能力を持つ、住宅専門新聞発行会社の(株)北海道住宅通信社。そして、小回りの効く動きで、ニーズに合致した器具や機械の開発・製造を行う、(有)津田機販である。

連携企業、加盟店などの協力を得、(株)Mr.ルーフマンは、北海道の屋根業界に、信頼と安心の屋根施工を実現する。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社Mr.ルーフマン 代表取締役 秋山 信介	
所在地	北海道札幌市東区丘珠町635番地1	
創業	平成17年1月	
資本金・従業員数	700万円	12名
業種	金属製屋根工事業	
TEL	011-781-3601	
FAX	011-781-3602	
ホームページ	http://www.roofman.jp/	
e-mail	info@roofman.jp	

PR等その他の情報

ルーフマンの創業理念は、お客様に安心して住んでいただける屋根作りが基本にあります。この北海道の厳しい自然環境のなかで育った、屋根板金の技術を、北海道の文化と考え、後世にこの技術を継承することが我々ルーフマンの使命です。

技術力・開発力・販売力・機動力を兼ね備えている北海道で唯一の板金工事グループですので、屋根について困った事があればいつでもご相談ください。